

公表:令和 4年 2月28日

事業所名 児童発達支援りとるみっけ・みっけキッズ

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			法令に遵守している。	
	② 職員の配置数は適切であるか	○			適切に配置している。	
	③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか		○			事業所によっては車椅子対応のスペースは確保できているが階段等手すりの設置が不十分。
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○			日々、清掃や消毒を行っている。個々の特性や療育内容に合わせ活動空間のレイアウトも工夫している。	
業務改善	⑤ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			個別支援計画に基づき全スタッフが参加し定期的に支援内容を見直している。	
	⑥ 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			アンケート調査また定期的に面談を実施している。	
	⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			この自己評価表をホームページで公開。	
	⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○			外部評価は実施していないが業務改善に向け今後実施していきたい。
	⑨ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			積極的に外部研修に参加し研修後は報告勉強会を実施。	
適切な支援の提供	⑩ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○			保護者のニーズを個別支援計画に反映。	
	⑪ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			標準的なアセスメントシートのほか必要項目を追加。	
	⑫ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○			ガイドラインに沿って支援している。	
	⑬ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○			児童発達支援計画に沿って支援している。	

	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			全スタッフで役割分担し共通理解のもと立案。	
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			活動のマンネリを防ぐため活動内容や教材を工夫している。	
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○			子どもの特性や状況に合わせ活動内容に配慮している。	
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			月間、週間、当日の支援内容を確認しスタッフの役割を明確にしている。	
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			集団・個別支援内容を個々に合わせ配慮し状況に応じ見直しや変更を行う。	
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			支援計画の目標に沿って記録し検証・改善を行う。	
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○			計画的に実施している。	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			児童発達支援管理責任者のほか必ず1名参加している。	
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○			必要に応じて情報共有し連携した支援を行っている。	
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	○			現在特に医療的ケアを必要とする利用児はいないが、てんかんや服薬等病理的な情報共有を密にし、必要に応じ関係機関と連携している。	
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	○			現在特に医療的ケアを必要とする利用児はいないが、てんかんや服薬等病理的な情報共有を密にし、必要に応じ協力医と連携している。	
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			必要に応じて情報共有し支援計画につなげている。	
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			必要に応じて情報共有し支援計画につなげている。	
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○				コロナ禍の影響を受け研修自体が減少しているが、機会があれば積極的に参加しスキルアップを図っている。
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	○				コロナ禍の影響を受け交流が困難となっているが、機会があれば保護者へ声かけ参加している。

	②⑨	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか		○			コロナ禍の影響を受け参加が困難となっているが、関連メールやHP等から情報収集・確認をしている。
	③⑩	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			定期的に面談し支援計画の目標設定等共通理解を深めている。	
	③⑪	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	○			事業所内でできたことなど都度説明し無理なく取り組める場合対応方法等勧めている。	
保護者への説明責任等	③⑫	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時に説明し不明な点がある場合随時説明している。	
	③⑬	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○			定期的な面談の他、必要に応じ話し合いの場を設け、十分な理解と同意を得た上で支援を行っている。	
	③⑭	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			定期的な面談のほか必要に応じて助言等おこなっている。	
	③⑮	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○			コロナ禍の影響を受け実施困難となっているが、落ち着いた折には勉強会や茶話会など必要に応じ再開していきたい。
	③⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			相談や要望があった場合解決に向けて適切に対応している。	
	③⑰	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			毎月事業所内のお知らせや活動内容等を掲載したお便りを発行している。	
	③⑱	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○			取扱いについては十分注意し保護者への同意のもと実施している。	
	③⑲	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			個々の状況に合わせ配慮している。	
	④①	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○			コロナ禍の影響を受け難しい状況ではある。落ち着いた折には夏祭りや地域イベントへの参加等、再開していきたい。
	非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○			各マニュアルを職員は入社時に周知し必要に応じ確認している。保護者へは契約時に説明を行う。
④②		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			法令に則り避難訓練を実施している。	
④③		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	○			利用児の病歴や服薬内容、健康面については常に情報収集し把握に努めている。	

④④	食物アレルギーのある子どもについて、示書に基づく対応がされているか 医師の指示に基づく対応がされているか	○			保護者を通し必要に応じ医師からの指示に従い対応している。	
④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			報告と対策を行い事故防止に努めている。	
④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			zoomや動画配信を用いた虐待研修に積極的に参加し、社内研修にて全スタッフでの情報共有化を図っている。	
④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○			身体拘束の実施例はないが、やむを得ない際は適切な手続きのもと実施し支援計画に記載していく。	

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。